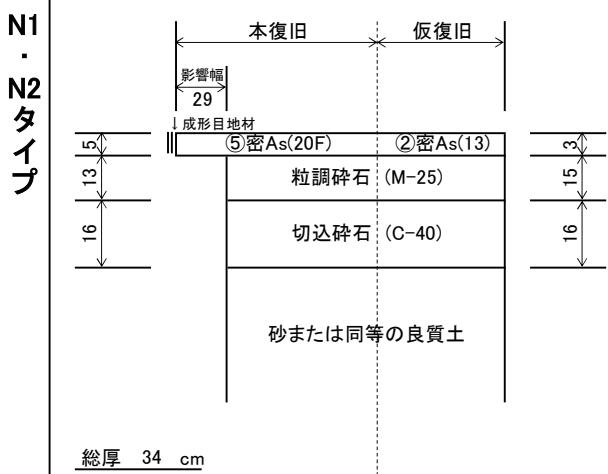


舗装復旧図(車道)

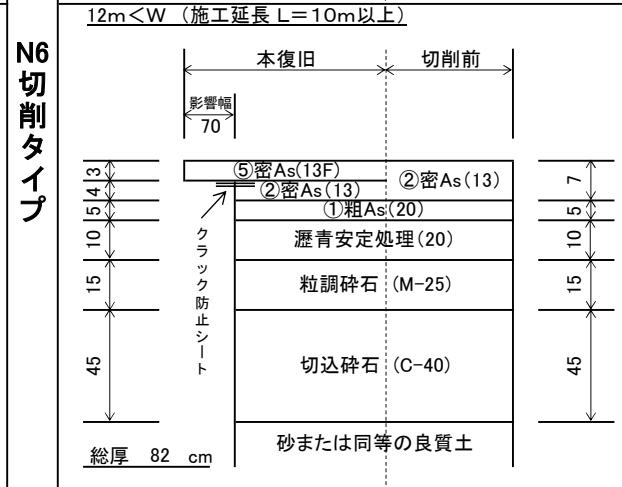
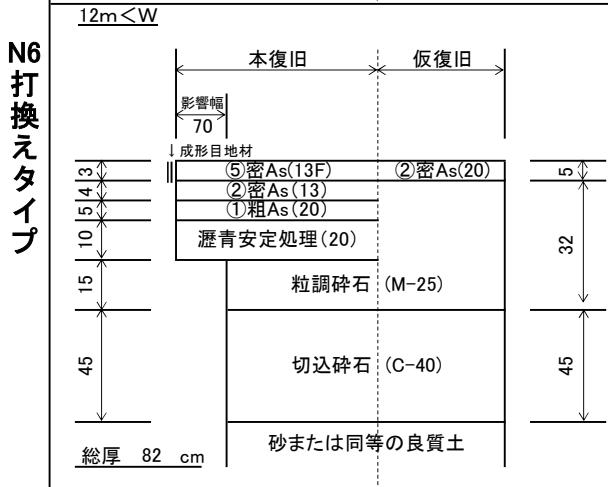
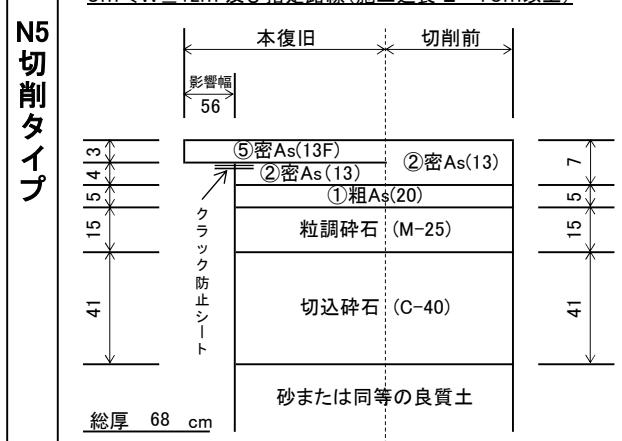
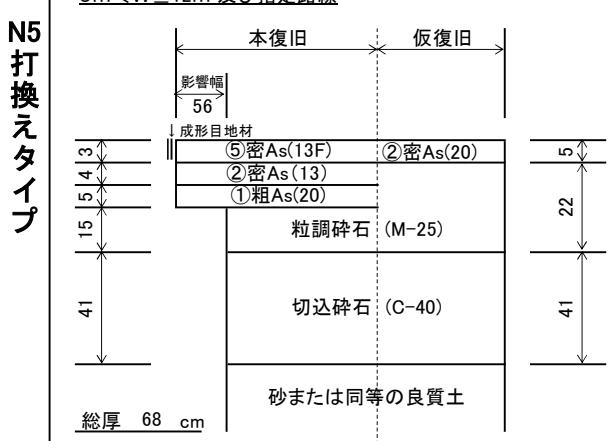
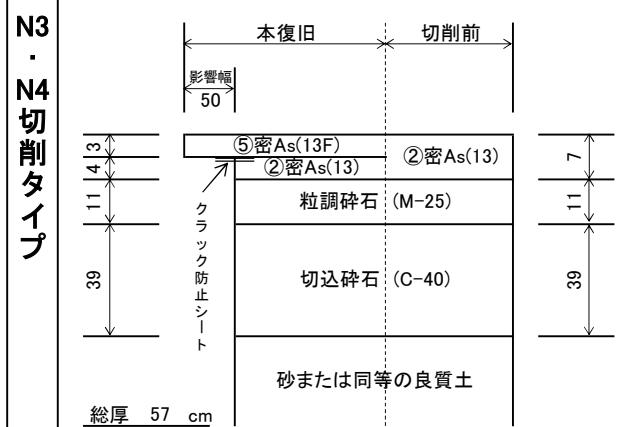
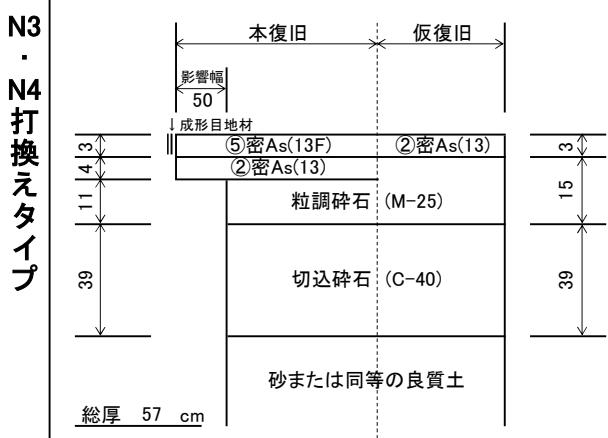
単位:cm

6m≥W



- Wは、車道の幅員とする。
(歩道がある場合は、縁石までの幅員、歩道が無い場合は、側溝等の外側までの幅員)
- アスファルト合材及び切込碎石は、再生材を可とする。
- 影響幅は、記載されている数値以上とする。
- 影響幅より1.2m以内に既存の絶縁線がある場合は、掘削部分から絶縁線まで復旧するものとし、クラック(ひび割れ)がある場合は、個別に指示するものとする。
- 舗装切削面及び舗装と構造物の間には、成形目地材を設置すること。
- 切削した場合は、掘削によって生じた絶縁線に沿ってクラック防止シートを設置すること。
- 柏崎地区については、吸出し防止材(イオシート)及び路盤補強工(テンサー)がある部分があるので注意すること。
- 原状回復届の提出から2年以内に、工事箇所に損傷が生じた場合、施行者の負担において復旧すること。
- 駅西地区については、車道の幅員で舗装構成及び使用材料が判断できないため、個別に指示するものとする。

※切削オーバーレイは、アスファルトフィニッシャー及び搭乗式の締固め機械を使用すること

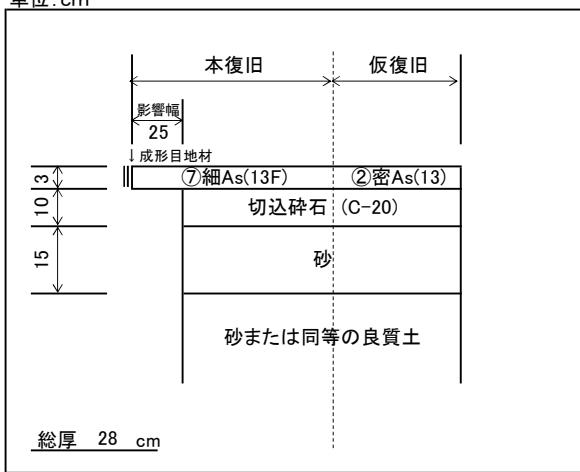


舗装復旧図(歩道等)

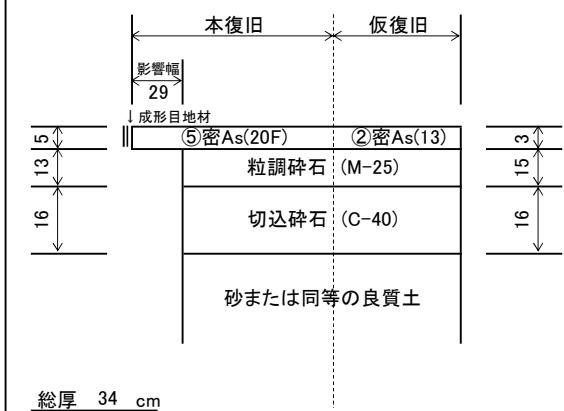
R8.1.1適用

単位:cm

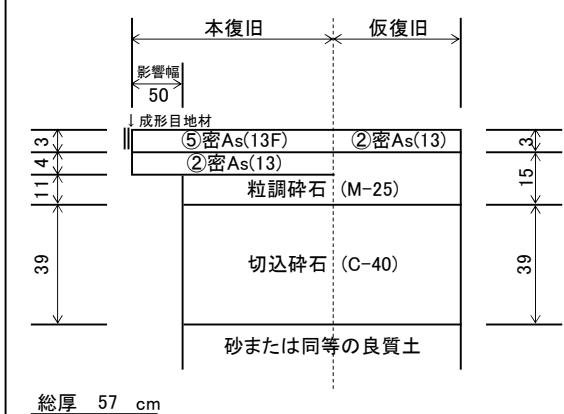
歩道タイプ



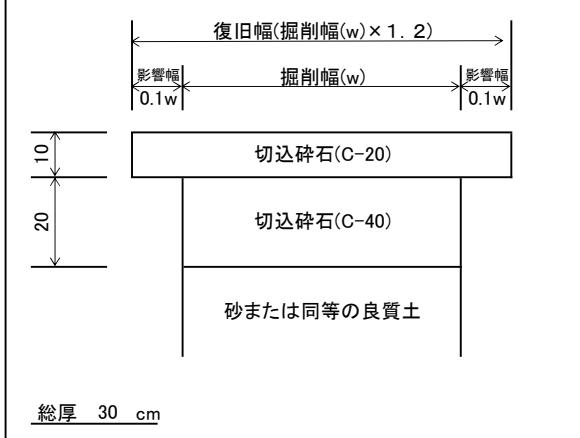
歩道乗入Aタイプ



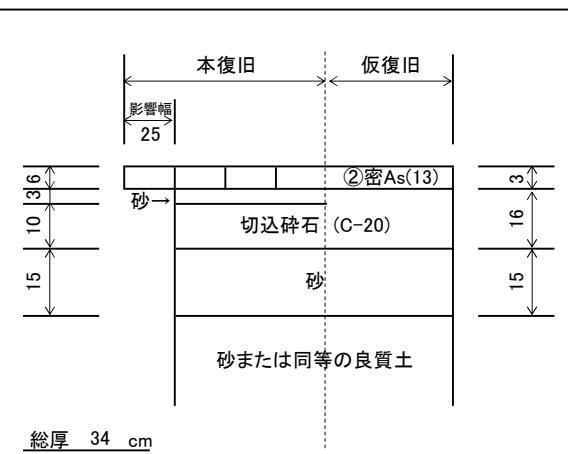
歩道乗入Bタイプ



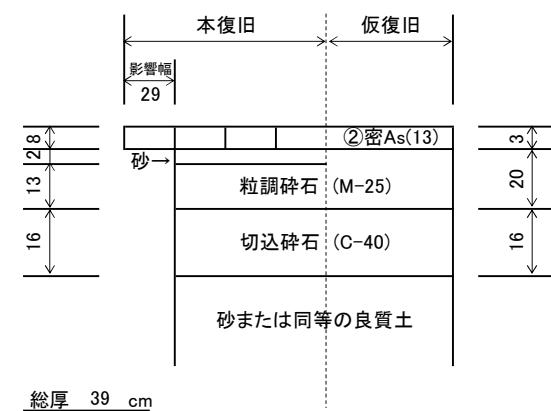
砂利タイプ



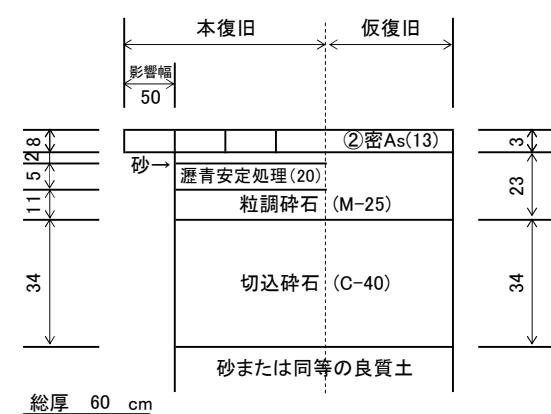
インターロッキング歩道タイプ



インターロッキング歩道乗入Aタイプ



インターロッキング歩道乗入Bタイプ



- Wは、車道の幅員とする。
(歩道がある場合は、縁石までの幅員、歩道が無い場合は、側溝等の外側までの幅員)
- アスファルト合材及び切込碎石は、再生材を可とする。
- 影響幅は、記載されている数値以上とする。
- 影響幅より1.2m以内に既存の絶縁線がある場合は、掘削部分から絶縁線まで復旧するものとし、クラック(ひび割れ)がある場合は、個別に指示するものとする。
- 舗装切削面及び舗装と構造物の間には、成形目地材を設置すること。
- 切削した場合は、掘削によって生じた絶縁線に沿ってクラック防止シートを設置すること。
- 柏崎地区については、吸出し防止材(イオシート)及び路盤補強工(テンサー)がある部分があるので注意すること。
- 原状回復届の提出から2年以内に、工事箇所に損傷が生じた場合、施行者の負担において復旧すること。
- 駅西地区については、車道の幅員で舗装構成及び使用材料が判断できないため、個別に指示するものとする。